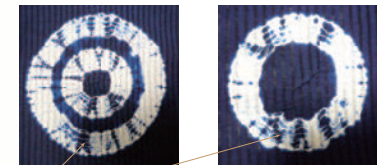


和紙布から浴衣へ

—和紙布の実用化を想定し、浴衣と鳴海絞りをを用いて表現—



絞る際の糸の部分が年輪のようになったので、柄の基本形を円とし、間伐され放置されている丸太をイメージした。

Concept

新しい繊維素材を直接肌で体感してもらう為に宿泊施設用の浴衣を選定した。国内や海外の旅行客に和紙布という物があると知ってもらうことが狙いである。

今回は、愛知県名古屋市緑区の有松・鳴海地域を中心に生産される有松・鳴海絞りで浴衣の柄を表現した。

地域の伝統工芸と結びつくことによって地場産業のすばらしさを知ってもらい、将来的には地場産業と繊維業界の両方を盛り上げていけたら良いと思っています。

Task

豊かな森林を保全していくには適度な間伐が必要となっている。しかし、国内で使われずに放置されている間伐材の量は年間2,000万m³にもものぼり問題となっている。

今回の卒業研究では間伐材と天然素材であるマニラ麻をブレンドした和紙を作成した。その和紙から和紙布を作成する段階までには至っているが試作の段階であり、実現できるまでには至っていない。

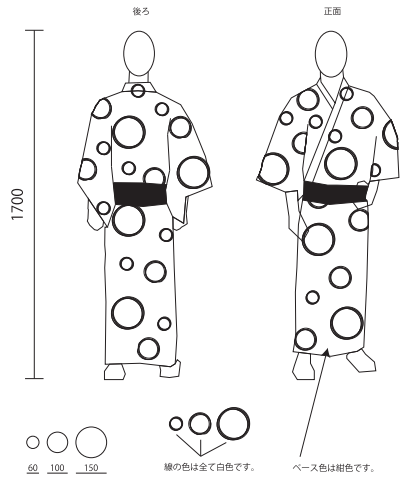
そこで今回は、マニラ麻がベースとなっている和紙から作成された浴衣を使い、浴衣の柄は伝統工芸の有松・鳴海絞りで表現をした。

今回は、間伐材和紙から作られた浴衣のためのシミュレーションである。実際に試作段階である和紙布（間伐材）を鳴海絞りで試してみ、絞りに耐えうる強度があると分かった。

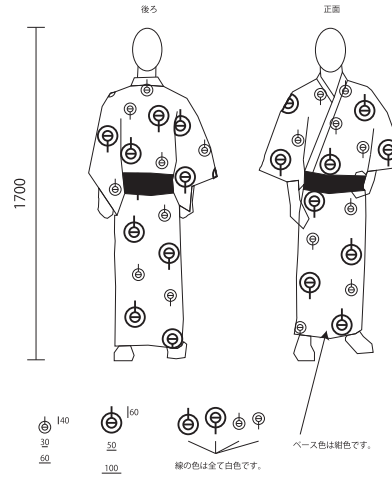
なので将来、実現した際に作品の様に浴衣を作成し、多くの方々に肌で体感してもらいたい。

Idea Sketch

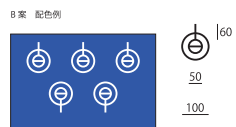
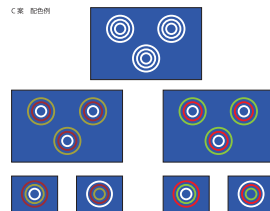
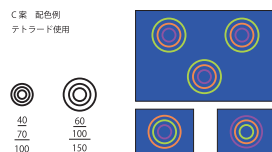
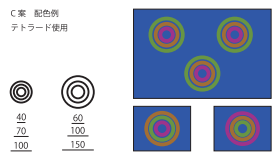
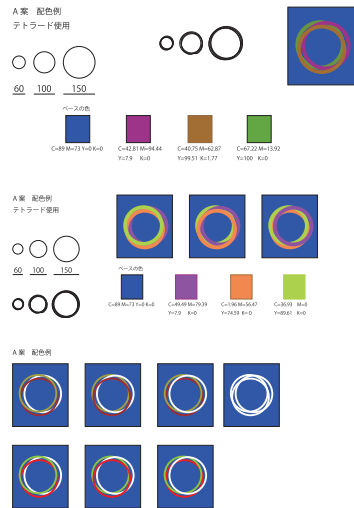
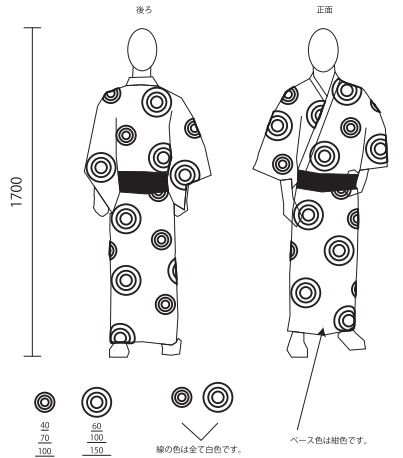
A案 S=1/10



B案 S=1/10



C案 S=1/10



Try



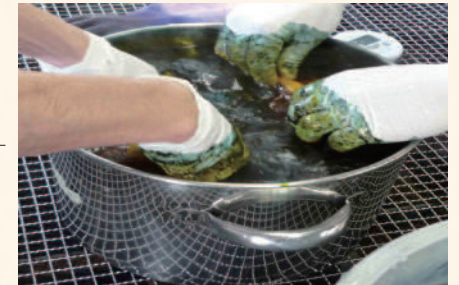
絞りのポイントを明確にするため、
原寸大の模様を写していく



染めない部分を糸で絞っていく



絞り終えた布を染料に浸けていく

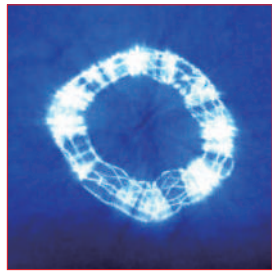


糸を切り乾燥させどのパターンが
良いのかを考える

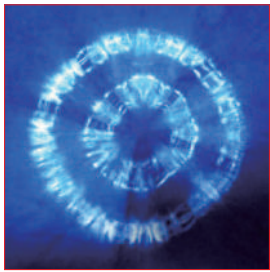


円の大きさやパターンを変えた模様を試作
してどのパターンを使うのかを考えながら
浴衣の模様を決定していく

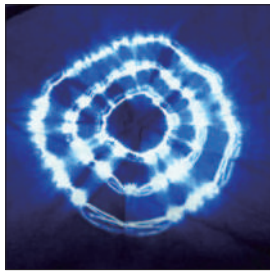
柄A



柄B

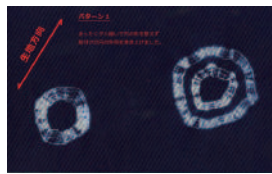


柄C

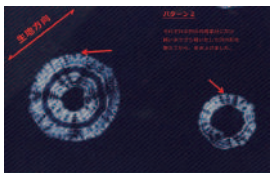


円の重なり具合を変更した柄を鳴海絞りで3つ作成し、どの柄を浴衣に表していくかを決定した。今回は柄Aと柄Bの二つを取り入れた。

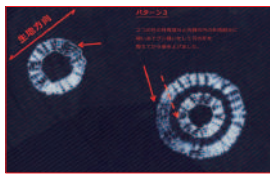
パターン1



パターン2



パターン3

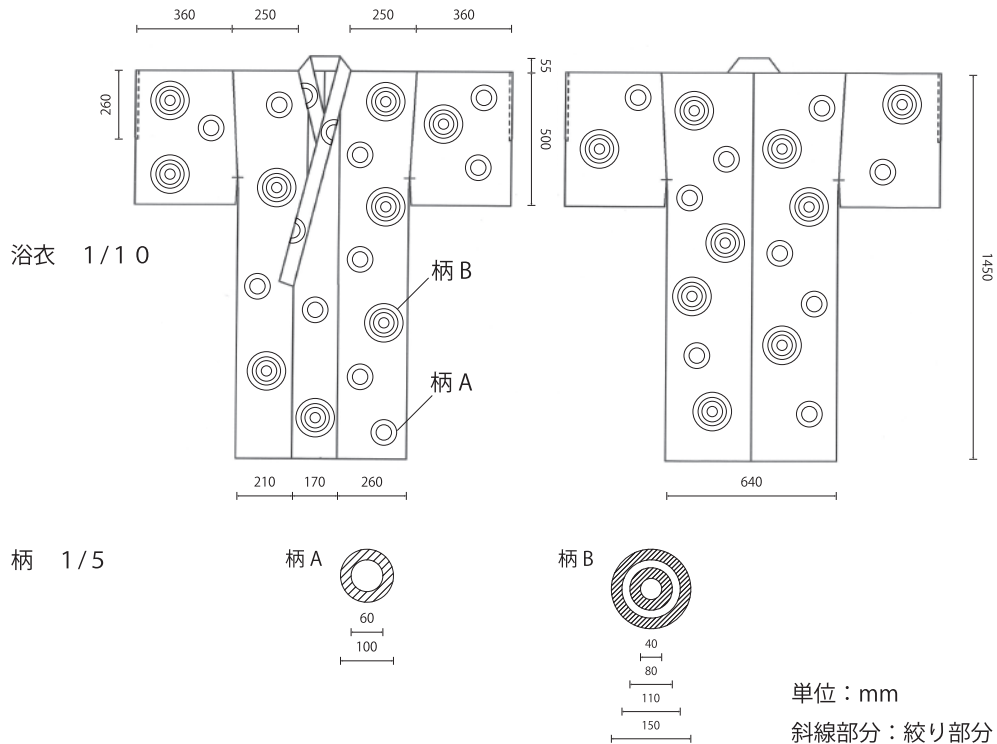


型を取る際の細かな違いを(有)こんせいさんから教えていただき、パターン3で決定して浴衣に柄を入れてもらった。

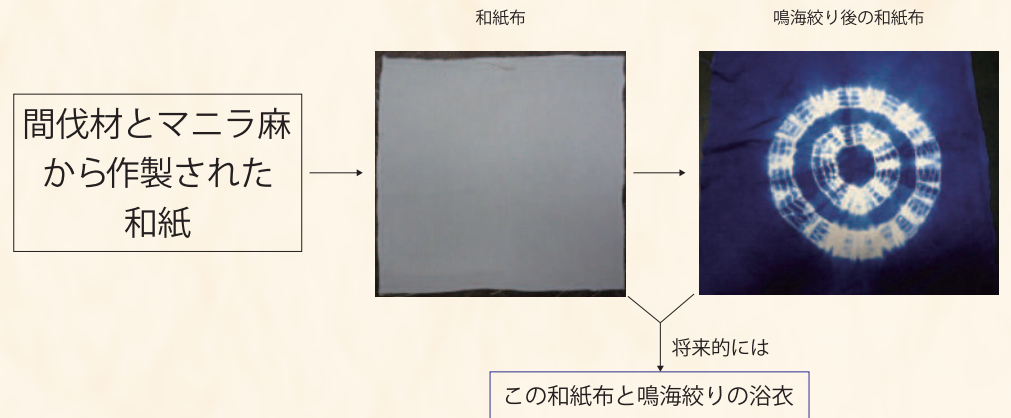
浴衣の柄の配置を決定し

浴衣を完成させる

Scale



和紙布を染めてみる



将来的にこの浴衣の生地となる、間伐材とマニラ麻をブレンドした和紙から作製される和紙布である。今回は、おそらく日本では初めての試みである和紙布に鳴海絞を使って染めることも行った。絞りを行う際に糸の圧力で和紙布が千切れてしまったり、うまく染めることができないのではないかと不安もあったが、他の布と同様に鳴海絞を利用して染めることができた。今回の作品はマニラ麻ベースの浴衣であるが、将来的には間伐材とマニラ麻で作製された和紙から作られた和紙布で浴衣を制作したいので今回の試みは非常に良い結果となったと思う。

鳴海絞りとは

鳴海絞りは、名古屋市緑区鳴海町を中心に400年以上前から始まりました。比較的近い場所に木綿の産地があったため入手しやすく、絞り染の浴衣や手ぬぐいなどがよく作られていました。江戸時代には江戸と京都を結ぶ「東海道五十三次」が設けられ、鳴海は41番目の宿場町として栄えました。上は將軍様、大名から商人、町民まであらゆる人たちが行き交いました。色鮮やかな絞り染めは、行き交う人々の目に興味深く映り、手土産として重宝されたそうです。その繁栄ぶりは安藤広重や葛飾北斎の浮世絵などにも描かれています。

日本の他の地域でも絞り染めは行われていましたが、鳴海では絞りについての研究が特に盛んだったため、ここで生み出された絞りの種類は100を越え、日本のみならず世界的に見ても突出した絞りの産地となりました。1975年には、有松鳴海絞りとして国の伝統工芸品に指定されています。(日本伝統工芸 鳴海絞り こんせい より)

絞りの工程



デザイン、型彫り、絵彫り → 括り → 染色 → 糸抜き、仕上げ